

催し物のご案内 (3月～5月)

観察会・講座等

1. 室内実習「博物館探検隊」[博物館]
日時：3月26日(水) 10:00～15:00
対象：小・中学生 40名(抽選)
募集：2月11日(火)～3月4日(火)
 2. 自然科学講座「鉱物観察の仕方」
—中級編— [博物館]
日時：3月29日(土) 13:00～15:00
対象：一般(大学・社会人向き) 60名
募集：2月18日(火)～3月11日(火)
 3. 自然科学講座「鉱物観察の仕方」
—上級編— [博物館]
日時：3月30日(日) 13:00～15:00
対象：一般(アマチュア・教員向き) 60名
募集：2月18日(火)～3月11日(火)
 4. 野外観察「春の植物ウォッチング」
[横浜市金沢区円海山周辺]
日時：4月12日(土) 10:00～15:00
対象：小・中学生とその保護者 50名
募集：3月4日(火)～3月25日(火)
 5. 植物分類・生態講座「イネ科植物入門」
[博物館および小田原市]
日時：[室内] 4月26日(土) 13:30～16:00 [野外] 27日(日) 10:00～15:00
対象：一般 40名
募集：3月18日(火)～4月8日(火)
 6. 野外観察「地形観察会」[小田原市国府津]
日時：5月3日(土) 10:00～15:00
対象：一般 50名
募集：3月25日(火)～4月15日(火)
 7. 野外観察「水辺の動物ウォッチング」
[松田町]
日時：5月10日(土) 10:00～15:00
対象：小・中学生とその保護者 50名
募集：4月1日(火)～4月22日(火)
 8. 研究テクニック講座「図鑑を作ろう—魚編—」[博物館]
日時：5月11日(日)・18日(日) 9:30～16:00
対象：一般 10名
募集：4月1日(火)～4月22日(火)
 9. 野外観察「磯の動物ウォッチング」[真鶴町真鶴半島]
日時：5月24日(土) 10:00～15:00
対象：小・中学生とその保護者 50名
募集：4月15日(火)～5月6日(火)
 10. 植物分類・生態講座「スゲ属植物入門」
[博物館]
日時：5月27日(火) 13:30～16:00
対象：一般 40名
募集：4月15日(火)～5月6日(火)
- 応募方法：往復はがきに参加行事名、参加代表者の住所、氏名、電話番号(連絡先)、参加する人と全員の氏名と年齢(学年)を明記して、お申込みください。応募多数の場合は抽選となります。

「身近な自然発見講座」

毎月第3水曜日に、一般の方を対象に、博物館周辺での自然観察や館内での実習・実験をする身近な講座を開催しております。参加費は無料で、事前の申し込みはおりません。当日、歩きやすい服装で、博物館正面玄関にお集まりください。雨天の時は中止します。持ちもの：筆記用具、ルーペ、昼食、水筒、雨具等

3月19日(水) 10:00～15:00
4月16日(水) 10:00～15:00
5月21日(水) 10:00～15:00

特別展のご案内

「櫻井コレクションの魅力」

—偉大なアマチュア自然科学者の軌跡—
平成9年3月1日(土)～5月11日(日)
<開催中、5月5日を除く毎週月曜日と3月21日(金)、4月17日(木)は休館>

アマチュア自然科学者として世界的に有名な故櫻井欽一博士が、永年にわたって蒐集された鉱物・化石・貝類等のコレクション中、約3万点が平成7年3月に当館に寄贈されました。

今回は、その中から鉱物標本・化石標本、研究ノートなどを中心に展示し、あわせて博士の業績の一部をご紹介します。

会場は、1階特別展示室で、特別展のみの観覧は無料です。

開館2周年記念行事のご案内

3月20日から30日まで開館2周年を記念して多彩な行事を開催します。

開館記念講演会	3/20	14:00～16:30
トークコンサート	3/20	17:00～18:30
展示レクチャー	3/25～29	14:00～15:00
博物館ライトアップ	期間中	日没～21:00

館の活動

平成8年度

- 10月12日 野外観察「きのこウォッチング」【参加者：38名】[逗子市神武寺山一帯](講師：学芸員 生出智哉・木場英久)
- 10月13・20日 室内学習「図鑑を作ろう—魚編—」【参加者：13名】(講師：学芸員 瀬能 宏)
- 10月16日 野外観察「身近な自然発見講座—キノコの観察を中心として—」【参加者：34名】[博物館周辺](講師：学芸員 生出智哉・新井一政)
- 11月9日 野外観察「秋の植物ウォッチング」【参加者：24名】[愛川町八菅山](講師：学芸員 木場英久・勝山輝男)
- 11月15日 広報誌『自然科学のとびら』第2巻第4号(通巻第7号)発行
- 11月20日 野外観察「身近な自然発見講座—岩石の観察を中心として—」【参加者：38名】[博物館周辺](講師：学芸員 今永 勇)
- 12月14日 野外観察および室内実習「鉱物ウォッチング」【参加者：43名】[山北町谷ヶおおよび博物館](講師：客員研究員 加藤 昭・学芸員 山下浩之)
- 12月18日 野外観察「身近な自然発見講座—野鳥の観察を中心として—」【参加者：38名】[博物館周辺](講師：学芸員 中村一恵)

ライブラリー通信 困った時の櫻井文庫

当館のライブラリーには、個人名を冠したコレクションの「文庫」がいくつかあります。昭和39年に植物分類学の研究者で、箱根町に住んでおられた澤田武太郎氏の旧蔵書、約1,700冊が寄贈されて「澤田文庫」として現在も利用されています。この文庫には、日本では数冊しかないと言われる、18世紀刊行のケンペルヤツンペリーの著書も含まれています。それらを目的に来館される方もいるほどです。

また、このたび特別展が開かれることになった、鉱物学者の櫻井欽一氏の旧蔵書も平成7年に寄贈されました。この「櫻井文庫」には、鉱物学関係のほかにも古生物学や貝類学、魚類学等の図書・雑誌があり、その数は一万点以上にもなります。

専門書は言うに及ばず、読み物風のものまで収集してあり、櫻井氏の人柄が窺えます。また、著者からの献呈本も多く、その交流の幅広さがわかります。何と、若かりし頃の当館の濱田館長の署名本もあったりして……。

規模の大きな寄贈があると、当然のことながら、その分野の資料に厚みが出てきます。以前は所蔵の有無を問われると、「ありません」と答えざるを得ないことが多かったのですが、「櫻井文庫」が入ってからは、まさかと思われる資料にまで、たどり着くことができるようになりました。ライブラリーでは「困った時の櫻井文庫」と呼んでいます。

この二つの文庫は当館にとって、とても大切な宝物になっているのです。

(司書・土屋定夫)